



奈良県自閉症協会 NEWS

# きずな

The Kiyuna

No.308

2024  
Apr.

4

<https://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人：  
関西障害者定期刊行物協会  
編集人：奈良県自閉症協会  
支部長&事務局：河村舟二  
〒639-1005  
大和郡山市矢田山町 84-10  
購読料1部 100円  
会員は会費に含まれています。



一九九六年五月一日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

**20**24年度特定非営利活動法人奈良県自閉症協会第17回総会を、令和6年5月31日(金)12時30分から16時予定で、大和郡山市役所交流棟、交流ホールにおいて行います。これは新型コロナウイルス感染症の終息で初の対面による総会となります。議事審議の終了後に社会福祉法人ひまわりの家常務理事の渡辺哲久さんを招いて「ひまわりの家・渡辺氏を囲む座談会」～障害者グループホームの現在、そしてこれからの事 みんなで一緒に考えてみませんか?～を予定しています。ぜひ多くの方に参加していただき、親なきあとの子どものためにするべきことなどを話題としたいと思いま

す。この座談会には会員以外の方も参加していただけますので、情報提供、ご提案、ご助言、頂ける方でも大歓迎です。1時半ごろ会場に来ていただくと助かります。正会員の皆様には、後ほど、総会の案内文と総会の出欠はがき(委任状または書面表決)をご自宅に郵送しますので、お手数をかけますが、必ず、出欠はがきを事務局に送り返して下さい。

本年度の活動としてはすでに4月2日、世界自閉症啓発デーの取り組みが行われました。大和郡山城天守台が世界自閉症啓発デーに合わせてライトアップされたこと、そしてその素晴らしい取り組みに感謝申し

上げます。自閉症啓発デーは、理解と共感を深め、自閉症スペクトラムの人々とその家族をサポートするための大切な日です。このようなイベントが行われることで、社会全体が自閉症について理解を深め、差別や偏見を減らす一歩となります。大和郡山城天守台のライトアップが、多くの人々に自閉症について考える機会を提供したことを心から感謝しています。自閉症スペクトラムの人々とその家族にとって、理解と支援は非常に重要です。私たちは共に、より包括的で理解ある社会を築るために努力しましょう。ありがとうございました。(河村)

令和6年4月12日

奈良県障害福祉課

○令和6年度身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)

奈良県障害福祉関連等情報を提供します。

貸与希望者の募集について

最新情報

県では、身体障害者の自立と社会参加の促進を図るため、「身体障害者補助犬貸与事業」を実施しております。詳細は下記をご覧ください。

○(4/10) 知事記者会見

HTML <https://www.pref.nara.jp/item/292102.htm#itemid292102>

HTML <https://www.pref.nara.jp/63365.htm>

テキスト <https://www.pref.nara.jp/66161.htm>

htm

映像 [https://www.youtube.com/watch?v=kXky6OUMX\\_4](https://www.youtube.com/watch?v=kXky6OUMX_4)

watch?v=kXky6OUMX\_4



### 世界自閉症啓発デー in 大和郡山お城まつり

皆様ありがとうございました

今年も大和郡山市のご協力を得て、4月2日の世界自閉症啓発デーのLight it up Blueを開催することができました。「お城まつり」会場での場内アナウンスや啓発リーフレットの配布のボランティア、そして運営にご協力くださった会員内外の皆さま、本当にご協力ありがとうございました。

今年の啓発デーは、整備が行き届いた城内にたくさんの夜店が立ち並び、五分咲きのきれいな桜とお天気を味方につけ、ありがたい限りでした。

ボランティアに来てくださった方は、リピーターの方も、今年初参加

の方もおられましたが、皆様堂々とアナウンスされ、文末にはミニ自己PRも入れてくださり、温かみにあふれた啓発活動となりました。お忙しい中、お仕事帰りに立ち寄ってくださる方もおられましたが、皆さま青いウエアを身に着け、お配りした青いキャップを被って、啓発活動をしてくださいました。

大和郡山市役所前には、世界自閉症啓発デーの大きな垂れ幕を掲げてください、ライトアップの設営もブース設営も、何もかもお世話になった大和郡山市障害福祉課の皆様、そしてご多忙な中、毎年ブースに来てくださる上田市長、本当に頭が下がります感謝申し上げます。

また、県立図書館情報館、生駒市立図書館、宇陀市立図書館、大和郡山市立図書館、田原本町立図書館、河

合町役場などでは啓発展示を、川西町文化会館では展示とブルーライトアップも開催していただきました。

決して派手な啓発PRの形ではありませんが、ご支援くださる大和郡山市の皆さま、発達障害者支援センターでいあーの皆様の協力を得て、当事者やご家族が無理のない範囲で、自らも集まった方々互いに励ましあえる希望につながる形が見えたように感じています。

どうか、啓発デー以外の日々も、理解の輪が広がりますように。

(湯浅)



大和郡山上田市長と記念撮影



河合町役場



大和郡山市役所前の垂れ幕



川西文化会館ライトアップ



**協力願い！！**

福井大学子どものこころの発達研究センター様から【発達障害：実態調査依頼】が来ています。ご協力をお願いします。(河村)  
[メッセージ]  
奈良県自閉症協会 様

平素よりお世話になっております、福井大学子どものこころの発達研究センターです。この度は奈良県自閉症協会様に以下の調査にご協力頂きたく、ご連絡致しました。現在、本センターでは、発達障害当事者を受け入れている支援団体に関する実態調査を行っております。調査内容を基に当事者支援団体(自助グループ、家族会など)の全国 Map を作成し、ホームページに公開することで、日本に住む当事者や家族、海外に住む邦

人にとっても当事者支援団体等にアクセスしやすい支援体制を構築したいと考えております。御多忙の中恐れ入りますが、ご協力いただけますと幸いです。調査にご賛同頂ける場合には、下記の Google フォームのリンクより回答して下さいますようお願い申し上げます。  
【調査回答用 Google フォーム】  
<https://forms.gle/3d47dJ5Ai5iePUKNA>  
本メール、調査内容にご不明などございましたら本センターまでお問い合わせください。宜しくお願い申し上げます。 事務局 小林 未歩  
福井大学 子どものこころの発達研究センター  
ICBT 事務局 (HOPE project / Children with ADHD Rescue

Project(CARP))  
特命助教 濱谷沙世 (医学博士)  
技術補佐員 小林  
Mail: [icbtjapan@gmail.com](mailto:icbtjapan@gmail.com)  
Tel: 0776-61-8707 (月・火・水曜 (10:00-16:00))  
子どものこころの発達研究センター: <https://rccmd.med.u-fukui.ac.jp/kodomo/>  
情動認知発達研究部門: <https://sites.google.com/view/joudouninchi/home>  
摂食障害オンライン治療研究: <https://www.iterapi.se/sites/jzenit/>  
HOPE project: <https://www.hopeproject.site/>

**「警察の対応に関する事例 緊急簡易調査結果」**

2024 年 4 月 8 日文責：今井 (日本自閉症協会 理事)  
警察の対応で、障害特性が理解されず、不適切な扱いを受け、つらい思いをした事例や、反対に警察の対応が良かった事例を緊急に収集した。



**経緯**

2023 年 11 月に宮城県で当協会の会員のお子さん (38 歳、会話が難しい知的障害者) が支援事業所の職員にケガをさせたとして逮捕され、10 日以上も勾留された。当協会はこの時の警察の対応には以下の大きな問題があると考えている。  
① 取り調べの際の障害への配慮の欠如  
② 警察が報道機関へ流した情報の内容  
他にも類似の例があるのではないかということから、緊急に事例を集めることとした。

**方法**  
全国の日本自閉症協会加盟の 50 団体の代表にメールでお願いした。(傘下の個々の会員までメールしていない)  
**期間**  
2024 年 1 月 9 日～ 31 日  
**結果**  
1. 7 都府県、11 件の事例が寄せられた。  
2. 内、対応が良かった好事例 5 件、問題があった事例 6 件。  
3. いずれも自閉症であるが、知的障害が重い事例である。すべて、

通常の会話が成立しないケース。  
**4. 要約**  
① 親が問題だとした主な例は、人や物に危害を加えるなどの刑事罰になる可能性がある場合で、かつ知的障害が重くコミュニケーションが普通にできない障害者に対する事案であった。  
② 問題とは、マスコミへの実名公表、勾留の是非と勾留時の配慮、本人とコミュニケーションがとれる弁護士等を介さない取り調べ、本人意思の確認、DNA 採取など。  
③ いっぽう、居住地の派出所 (生活安全課) が対応する行方不明や

小さなトラブルについては感謝が ④不審者として通報されることが多く、理解してもらっているという 多いように思われる。意見が多い。

**事例01**

1. 時期：不明  
 2. 障害の程度  
 20歳代、男、重度知的障害の自閉症。身長180cm 体重140kg で大柄。慣れた場所には独りで散歩や買物に行く。  
 3. 警察沙汰になった理由  
 外出先で不審者として警察に保護されるのは数ヶ月に一度くらいある。  
 4. 警察での扱いや対応  
 不当な扱いを受けたことはない。地元の警察署に息子の顔を覚えてくれている警官もいて、皆さん優しく対応してくれる。  
 （他の保護者からも、警察とは顔馴染みとか、警察は親切という話は聞くが、不当な扱いを受けたという話は聞いたことはない）  
 5. 親としての対策  
 息子のスマホに私（父）の携帯番号だけを登録しているので私に警察から電話がかかる。保護されて警察から呼び出されたら仕事を抜けて迎えに行く。地元の警察署にもちょこちょこ行く。

1. 時期：不明  
 2. 障害の程度：男 30歳代、知的障害（療育手帳B1）、自閉症  
 3. 警察沙汰になった理由 **事例02**  
 時々、外での迷惑行為  
 4. 警察での扱いや対応  
 派出所の職員は息子のことを分かっていた。  
 5. 親としての対応  
 派出所に家族構成等を伝えていて、息子のことを伝えている。

1. 時期：6、7年前の12月  
 2. 障害の程度：重度の知的障害を伴う自閉症  
 3. 警察沙汰になった理由 **事例03**  
 ヘルパーさんと はぐれてしまった。  
 4. 警察での扱いや対応  
 5 時間後、暗くなっていたが、お巡りさんが捜索してくれて、見つかった。身体中冷えていて、発見されなかったら大変なことになっていたと思う。

**事例04**

<p>1. 時期：2021年頃                  2. 障害の程度：30代、男、知的障害（療育手帳B1）、自閉症                  3. 警察沙汰になった理由                  近所の小さな公園で丸裸でいたのを通りすがりの人が発見し、警察に通報。警察が現場に駆けつけ息子を確保した。                  4. 警察での扱いや対応                  身につけていたサイドボーチの親の連絡先を確認して、父に連絡があり、母親が駐在所で引き取った。駐在所には、以前より息子のことは伝えておいたので、駐在職員が代わっていたが事なきこととして解放された。</p>	<p>5. 親としての対応                  本人のプロフィールと保護者の連絡先が分かるものを身につけておく。                  駐在所や近所には、障害の資料等、我が子のことを分かってもらうようにする。親の会に入っておくと、親の会からバックアップしてもらえる。                  6. 補足                  以上の他にもつぎのような事件が以前にあった。                  ① 数キロ先の寿司店に徒歩で歩き、注文飲食後にお金が足らず、店長が警察に連絡。警察から親に連絡があり迎えに行き、店長と警</p>	<p>察に説明して理解を得た。しかし、数年後にまた1人で同じ寿司屋に行き、お金が足らず、警察から連絡があり、父が迎えに。店長は息子のことは知っており、警察には連絡したが、穏便に済んだ。                  ② 特別支援学校への自力通学時に、駅構内のトイレで奇声を発したため、駅近くの駐在所から父に連絡があった。説明して引き取った。半年後に分かったのだが、原因は学校の先生の息子への対応が悪い為にパニックになったもの。分かった時点で息子への適切な対応を学校へお願いしたが、息子は2年間通学出来ず、パニックが頻繁した。</p>
--	---	--

### 事例05

1. 時期：数年前の夏
2. 障害の程度：重度の知的障害を伴う自閉症
3. 警察沙汰になった理由
  - 1 回目：グループホームから、作業所行きバスに乗れなかった。炎天下で2時間待っていたとき、近所の方が警察へ通報し、よく対応してもらえた。
  - 2 回目：作業所行きバスを待つ間、近所にあった物を触ってしまい、警察に通報された。
4. 警察での扱いや対応
 

お巡りさんがバスポイントの見直しを提案し、ようやく通所施設の送迎が改善された。



### 事例06

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時期：10 年くらい前</li> <li>2. 障害の程度：男、30 代。自閉症、知的障害。意味ある普通の会話は困難。</li> <li>3. 警察沙汰になった理由                     <p>地域で変質者が出ているとの情報があった時期。</p> <p>本人は高校生に興味があり、学校の周りを歩いていたら疑われ、パトカーに乗せられて警察署へ連れていかれた。</p> </li> <li>4. 警察での扱いや対応                     <p>本人はオウム返しがあり、警察の質問に対しても、オウム返しをしてしまった。警察からは DNA 鑑定をされると言われ、親は同意できな</p> </li> </ol> | <p>いと反対した。</p> <p>本人の障害の状態を説明したが、警察は聞く耳を持たなかった。最終的には、本人の支援に関わっていた事業所の人の説明で釈放された。その後、犯人が捕まったが、警察から誤認逮捕のお詫びはされていない。</p> <p>今後も疑われるような事が起きるかもしれない。警察の対応に不安を感じる。</p> <li>5. 改善を求めたいこと                 <p>(1) 取り調べでは、障害により適切な答え方ができない人がいる。何か言われればオウム返しで答えたり、ごめんなさいなど言ったりす</p> </li> | <p>ることがよくある。警察は親の言うことを信用しないのかもしれないが、本人の障害の状態、コミュニケーション能力などがわからないまま取り調べをすると、本人が自白をした、罪を認めたということになりかねないので、取り調べを行う際には、本人の障害の状態をよく理解してほしい。</p> <p>(2) 障害手帳を保持している人については、本人をよく理解している専門家（一般的専門家ではなく）の立ち合いのもとで判断してほしい。</p> |
|--|--|---|

### 事例07

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時期：2022 年 9 月土曜日、朝 5 時過ぎ</li> <li>2. 障害の程度：IQ35 の重度の知的障害 (A1)、自閉症、当時 20 歳代、男</li> <li>3. 警察沙汰になった理由                     <p>土曜日の朝 5 時過ぎに、本人が卒業した近くの小学の窓ガラスをハンマーで割ったところを警戒していた警察官に職務質問なしで現行犯逮捕された。(本人によると、学</p> </li> </ol> | <p>校に行った理由は「先生に会いたかった」と)</p> <p>新聞報道によると 1 ヶ月前からこの小学校ではガラスが割られる被害があった。</p> <li>4. 警察での扱いや対応                 <p>逃亡の恐れ、自殺の恐れを理由として 10 日間の勾留となった。</p> <p>朝 7 時過ぎ 家族に連絡があり、その際に療育手帳、ヘルプマークを所持していることを伝えていたが、</p> </li> | <p>警察が報道各社へプレス発表した際に、重度の知的障害があり、責任能力に疑義があるにもかかわらず、実名を公表したため、翌日に地元マスコミ数社は実名で事件を報道した。本人の今後のことを考慮すると実名報道は適切ではない。また、警察が国選弁護人を希望するかを本人に聞くなど、重度知的障害者への対応が適切でない。(最終的には不起訴となった)</p> |
|---|---|---|

### 事例08

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>1. 時期：5～6年前</p> <p>2. 障害の程度：男、当時20歳代、知的障害(愛の手帳3度)、自閉症、会話は成り立たない</p> <p>3. 警察沙汰になった理由<br/>作業所からの帰り、急に息子が走りだし、近くの公園のトイレに入り、出たところを二人の警察官に取り押さえられた。ズボンをおろしているとの通報があったために事情を聞くということだった。息子がトイレに走る前、息子の後ろを歩いていた親子が警察に通報したのだと思われる。当時、その親子の後ろを見守って歩いていた私(母)はズボンを下ろしていた</p> | <p>ことを確認できていない。</p> <p>4. 警察での扱いや対応<br/>警察官は決めつけた言動で、勘違いかもしれないという考えは、全くない。<br/>二人の警官のうち年配の方が「こういう子は、一人で外を歩かせないで」と言った。若い方は、「トイレに行きたかったんだね」と言ってくれた。<br/>私も、息子が不穏になるのを避けたく、母印を押して、あやまって帰った。証拠もないのに、まるで犯罪者扱いで、悔しかった。傷ついた。ただ、若い方が少しは理解のある</p> | <p>言葉をかけてくれたのが、救いだった。ズボンをおろして歩くのはダメだが、悪いときめつけて、ひどい言葉を言っていていいとはならない。</p> <p>5. 親としての対応<br/>特別支援学校高等部在籍の時は、毎年役員の担当が地元の警察やバス会社へしおりをもって、懇談やご挨拶に行っていた。希望者は、もよりの交番や駐在所にしおりをもって行っていた。<br/>生活安全課の方は駐在さんも理解ある対応をしてくれた。けれど、すべての警察官がそうだとはやはり言えないと思った。配慮ある対応をお願いしたい。</p> |
|--|--|--|

### 会費納入のお願い

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>①個人正会員 ￥6000.-</p> <p>②賛助会員 個人￥3000.-<br/>法人￥10000.-</p> <p>(振込先)</p> <p>①ゆうちょ銀行</p> <p>口座番号：00980-0-225697</p> <p>名義：特定非営利活動法人 奈良</p> | <p>県自閉症協会</p> <p>②南都銀行郡山支店</p> <p>口座番号：普通預金 1068978</p> <p>名義：奈良県自閉症協会</p> <p>代表者 河村舟二</p> <p>*お願い 南都銀行に振り込まれる時、(シャカイフクシホウジ</p> | <p>ンヤトクテイヒエイリカツドウホウジン)等の法人格名は、記載しないで下さい。</p> <p>*住所や名前の変更があれば、下記、理事長河村さんまでお願いします。</p> <p>事務局 理事長 河村舟二まで</p> |
|---|---|---|

### 2024年度特定非営利活動法人奈良県自閉症協会第17回総会

- 1, 日時 2024 (令和6年) 5月31日 (金)
- 2, 場所 大和郡山市北郡山町 248-4  
大和郡山市役所交流棟 交流ホール
- 3, 日程 12:30 ~ 16:00
- 4, 総会議事
  - 1号議案 2023年度(令和5年度)活動報告
  - 2号議案 2023年度(令和5年度)会計決算報告・監査報告  
質疑応答・承認
  - 3号議案 2024年度役員(案)の承認
  - 4号議案 2024年度(令和6年度)事業計画(案)  
質疑応答・承認
  - 5号議案 2024年度(令和6年度)会計予算(案)  
質疑応答・承認

休 憩
5. 「ひまわりの家・渡辺氏を囲む座談会」  
～障害者グループホームの現在、そしてこれからの事みんなで一緒に考えてみませんか～  
講師 渡辺哲久 氏(社会福祉法人ひまわり常務理事・ピープルファーストジャパン全国事務局支援者)

# 子どもゆめ基金<sup>®</sup>

令和6年度募集案内【二次募集】

— 体験活動・読書活動共通 —

未来を担う子どもたちに大きな夢を



子どもの体験活動・読書活動への  
助成を行っています

みなさんに、もっと活用いただけるよう助成対象や申請件数を拡大しました。

令和6年度二次募集

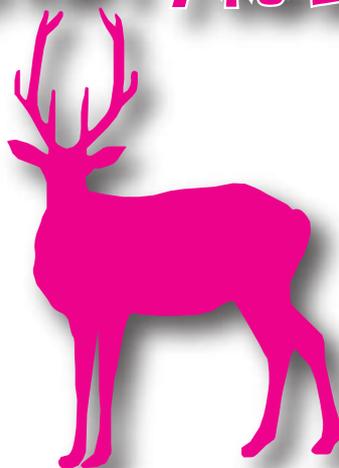
2024年 **5月1日(水)** ~ **6月18日(火)** 17時締切

 National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
**子どもゆめ基金**

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1  
【子どもゆめ基金フリーダイヤル (無料)】  
0120-579081 (平日 9:00 ~ 17:45)

# 奈良障害フォーラム(NDF)総会

# NDF



日時

2024年 **6**月**9**日(日)  
13:30~16:00 (開場13:00)

会場

奈良市はぐみセンター 1階  
JR奈良駅西口から南へ約200m

内容

第1部 記念講演

「奈良県障害者計画について」

講師 奈良県福祉医療部障害福祉課長 嶋村義典 氏

今後5年間の奈良県障害者施策を推進していく計画が、今年度策定されます。2月には障害者団体のヒアリングや、アンケート調査が終わり、夏にもそのまとめが出される予定です。障害分野に関わる県条例や国の施策とのかかわり、県独自の取り組みなどがどう織り込まれていくのでしょうか。障害者権利委員会の総括所見には自治体への勧告もあり、地域の政策決定に障害当事者、関係者の参画は大きな柱です。私たちのねがいをもち寄り、計画策定の意義を改めて学びましょう。

第2部 総会

2025年1月19日(日)には、日本障害フォーラム(JDF)と、地域フォーラム・奈良を開催予定です。その成功に向けての話し合いも行います。

情報保障

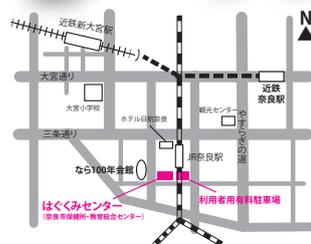
文字支援と点字資料があります。

主催

奈良障害フォーラム(NDF)

問い合わせ先

〒630-8424 奈良市古市町529-4 ふゆーちゃー内 奈良障害フォーラム事務局  
電話 080-1445-7894 (担当 小針) fax 0742-63-6508  
mail y-kohari@kyosaren.or.jp



# 【 参加申込書 】

日時：2024年6月9日(日) 13時30分～16時00分

会場：奈良市はぐくみセンター 1階

(ふりがな) <b>お名前</b>	
<b>ご所属</b> (団体などあればお書きください)	
<b>ご連絡先</b> (メールアドレスまたは電話番号・FAX番号)	
<b>必要な配慮</b> (必要なものに○をつけてください。)	手話・要約筆記・点字プログラム 車いす使用(有・無) その他( )

FAX送付先：

奈良障害フォーラムNDF事務局(0742-63-6508)

このまま送信してください。

## 奈良障害フォーラム NDF 加盟団体

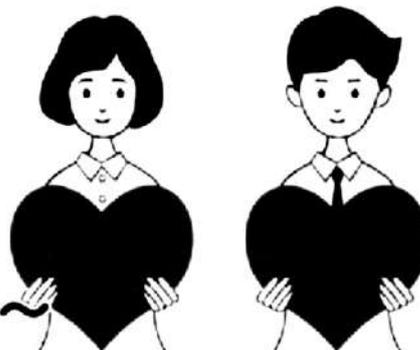
- |   |  |
|---|--|
| 一般社団法人奈良県視覚障害者協会<br>一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会<br>一般社団法人奈良県聴覚障害者協会<br>公益社団法人日本オストミー協会奈良県支部<br>一般社団法人日本筋ジストロフィー協会奈良支部<br>一般社団法人日本精神科看護協会奈良県支部<br>えじそんくらぶ奈良「ポップコーン」ADHD<br>NPO 法人なゆたの会<br>NPO 法人奈良県社会就労事業振興センター<br>きょうされん奈良支部<br>障害者差別をなくす奈良県推進委員会<br>障害者自立支援法違憲奈良訴訟元原告<br>全国障害者問題研究会奈良支部<br>地域で一緒に支える会(鎖肛当事者の会)<br>特定非営利活動法人奈良県自閉症協会<br>奈良LD親の会「パンジー」<br>奈良県作業療法士会<br>奈良県肢体不自由児者父母の会連合会<br>奈良県重症心身障害児(者)を守る会<br>奈良県障害児学校教職員組合 | 奈良県障害者運動ネットワーク<br>奈良県障害者協議会<br>奈良県障害者の生活と権利を守る連絡会<br>奈良県障害者福祉連合協議会<br>奈良県社会就労センター協議会<br>奈良県視力障害者の生活を守る会<br>奈良県心身障害者施設連盟<br>奈良県精神科ソーシャルワーカー協会<br>奈良県精神障害者家族会連合会<br>奈良県精神障害者地域生活支援団体協議会<br>奈良県断酒連合会<br>奈良県知的障害者施設協会<br>奈良県中途失聴・難聴者協会<br>奈良市障害者施設長会議<br>奈良高次脳機能障害友の会あすか<br>日本ダウン症協会奈良北支部<br>日本てんかん協会奈良県支部<br>特定非営利活動法人「ハート・プラスの会」奈良<br>ピープルファースト奈良<br>ワンネスグループ(薬物ギャンブルアルコール依存症) |
|---|--|

(公財) 日本社会福祉弘済会 助成事業

2024年度 自閉スペクトラム症にかかわる方のためのオンライン連続セミナー全3回

# その人らしさを 活かす支援

～「はたらく」ことに向けて～



ASDの人が「はたらく」ということは、簡単なことではありません。

学校を卒業し、親から心理的に自立して社会生活に移行する際、仕事の適性を重視する傾向がありますが、就労を続けるためには日常生活能力や対人関係なども重要であり、仕事そのものには直接関係しなくても、就労生活に大きな影響を及ぼすといわれています。

ASDの人が自己を理解し、自分らしく生き、自ら働くために、それぞれのライフステージでどんな支援が必要なのでしょう？ 家族、支援者を含む全ての関わる人に聴いていただきたいセミナーです。

第1回

7.13<sup>土</sup>

ASDの人たちの  
学習スタイル

支援はまず理解から始まる



諏訪 利明氏

川崎医療福祉大学医療  
福祉学科 准教授  
TEACCH®公認上級コ  
ンサルタント

第2回

9.29<sup>日</sup>

ASDのご本人たちへの  
「説明という支援」

成功体験提供→キーワード提  
供→特性説明(→診断告知)  
の流れを常に意識する



吉田 友子氏

千代田クリニック院長  
IPEC所長

第3回

11.10<sup>日</sup>

その人らしい  
就労を目指して

地域性をいかした就労支  
援の実践



高松 光照氏

NPO法人江朋会理事長  
就労移行支援事業所ジ  
ョブリード サービス管  
理責任者



**時間** 13:00～15:30  
**対象** ASDに関わる全ての方  
**会場** Zoomによる配信  
\*期間限定見逃し配信あり  
**定員** 100名(先着順)

**受講料** ※価格は3回分一括のみ・税込です  
一般 ¥12,000  
賛助会員(個人・団体) ¥8,000  
正会員 無料 **要申込**

お申込みは  
Webから!



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ 事務局 学習部

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8

facebook.com/npotanpopo tpshigaiclass@gmail.com

https://npotanpopoclass.jimdofree.com/

## 講師プロフィールと講義内容詳細

### 第1回



すわ としあき 川崎医療福祉大学医療福祉学科 准教授  
**諏訪 利明氏** TEACCH®公認上級コンサルタント

1986年上智大学大学院心理コース修了。社会福祉法人県央福祉会県央療育センター、海老名市立わかば学園を経て、2012年4月より現職。大学では、授業はもちろん、増えている発達障害学生の面談、地域の保育園や学校、事業所へのコンサルテーションや研修を行っている。公認心理師。

ASDの人と関わる時には、彼らの「違い」をまず理解することが重要。彼らが学ぶべきことはそれぞれいろいろあるだろうけれど、その前に、周囲が彼らの「学び方」を知って、彼らに納得いくように、ちゃんと教えられるようになることが先。そのヒントとなる「学習スタイル」について講義します。

### 第2回



よしだ ゆうこ 千代田クリニック院長 iPEC所長  
**吉田 友子氏**

1985年東京慈恵会医科大学卒業。横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市北部地域療育センター、よこはま発達クリニック等を経て、2020年3月千代田クリニック開業。2005年2月iPECを設立し自己理解支援に関する臨床・啓発や複数大学での大学生面談を担当。

ASDの人たちは、知的困難の有無に関わらず、自分に関する心理学的医学情報を知る権利があります。ただし教科書的な知識の一方的な通告では、彼らは情報を有効活用できず、自己否定や支援拒否などの辛い状況に追い込まれる危険すらあります。説明という支援を安全に行うために心掛けていることを共有します。

### 第3回



たかまつ こうしょう NPO法人江朋会理事長 就労移行支援  
**高松 光照氏** 事業所ジョブリードサービス管理責任者

愛知学院大学大学院文学研究科博士課程後期修了。高等学校教諭(社会科)、就労継続B型事業所支援員、滋賀県発達障害者支援センター成人・就労支援員、就労移行支援事業所ジョブリード副所長(サービス管理責任者)

ASDの人たちが、就労に向けてのトレーニング(就労移行支援)を通して、「社会に適応する力」をどのように身に付けていかれているのかを、実践例を通してお話しさせていただきます。

主催  
お問合せ

 NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

<https://npotanpopo.jimdofree.com/>



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き生きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。自閉スペクトラム症の正しい知識の普及や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。



**国**立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部発達障害情報・支援センターからの情報 (河村)

拝啓、時下ますますご清栄のこととおよび申し上げます。発達障害情報・支援センターでは、今年度、発達障害のある方やそのご家族に向けた情報発信の一環として、「発達障害ナビポータル」内に情報検索ツール「ココみて (KOKOMITE)」を開設いたしました。もの節は、ご多忙の中、お力添えをいただき、心より感謝申し上げます。おかげをもちまして、「ココみて (KOKOMITE)」の掲載情報は、現在令和6年3月1日時点、1,878件となっており、「発達障害ナビポータル」の中でも特に多くの皆さまにご活用いただいているコンテンツです。当事者会・親の会

の情矧こつきましても、215件の情報を掲載しております。今後とも、発達障害のご本人・ご家族、全国の関係者の善吉まへの概提供の充実に向けて取り組んでいく所存です。引き続きご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部発達障害情報・支援センター  
(担当：与那城、赤塚)  
TEL：04-2995-3100 (内線 2590)  
E-mail：hattatu-isc@rehab.go.jp  
<発達障害ナビポータル>  
<https://hattatsu.go.jp>



### 毎年恒例になりましたプロ野球観戦チケット

10枚を奈良県自閉症協会として申し込んであります。必要な方は枚数をメールでお知らせください。申し込み多数の場合はメールにより協議します。

メールアドレス

[kawafune@ares.eonet.ne.jp](mailto:kawafune@ares.eonet.ne.jp)

件名 野球チケット



### 発達障害ナビポータル

<https://hattatsu.go.jp/>

発達障害ナビポータルは、国が提供する発達障害の情報を特化したポータルサイトです。発達障害のあるご本人・ご家族や関係者、全国の支援機関の皆さまに幅広くご活用いただけるよう、信頼のおける情報の提供を行っています。

このポータルサイトは、厚生労働省と文部科学省の協力のもと、国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）と国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）が共同で運用しています。

（ トップページや各コンテンツへは  
下のQRコードからアクセスすることができます ）



厚労省・こども家庭庁から報酬改定に関するQ & A、また衛星事業者向けガイドラインについての情報提供がありました。

●報酬改定関連

厚労省のQ&A

<https://www.mhlw.go.jp/content/001239154.pdf>

こども家庭庁のQ & A (障害児)

[https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/253aba4f-3ce0-4aa1-a777-3d42440f1ca2/6fe0de86/20240401\\_policies\\_shougaijishien\\_shisaku\\_hoshukaitei\\_17.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/253aba4f-3ce0-4aa1-a777-3d42440f1ca2/6fe0de86/20240401_policies_shougaijishien_shisaku_hoshukaitei_17.pdf)

●衛生事業者向けガイドラインについて、

厚労省 HP の掲載

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/seikatsu-eisei33/index\\_00011.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/seikatsu-eisei33/index_00011.html)

発行人：関西障害者定期刊行物協会

住所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円